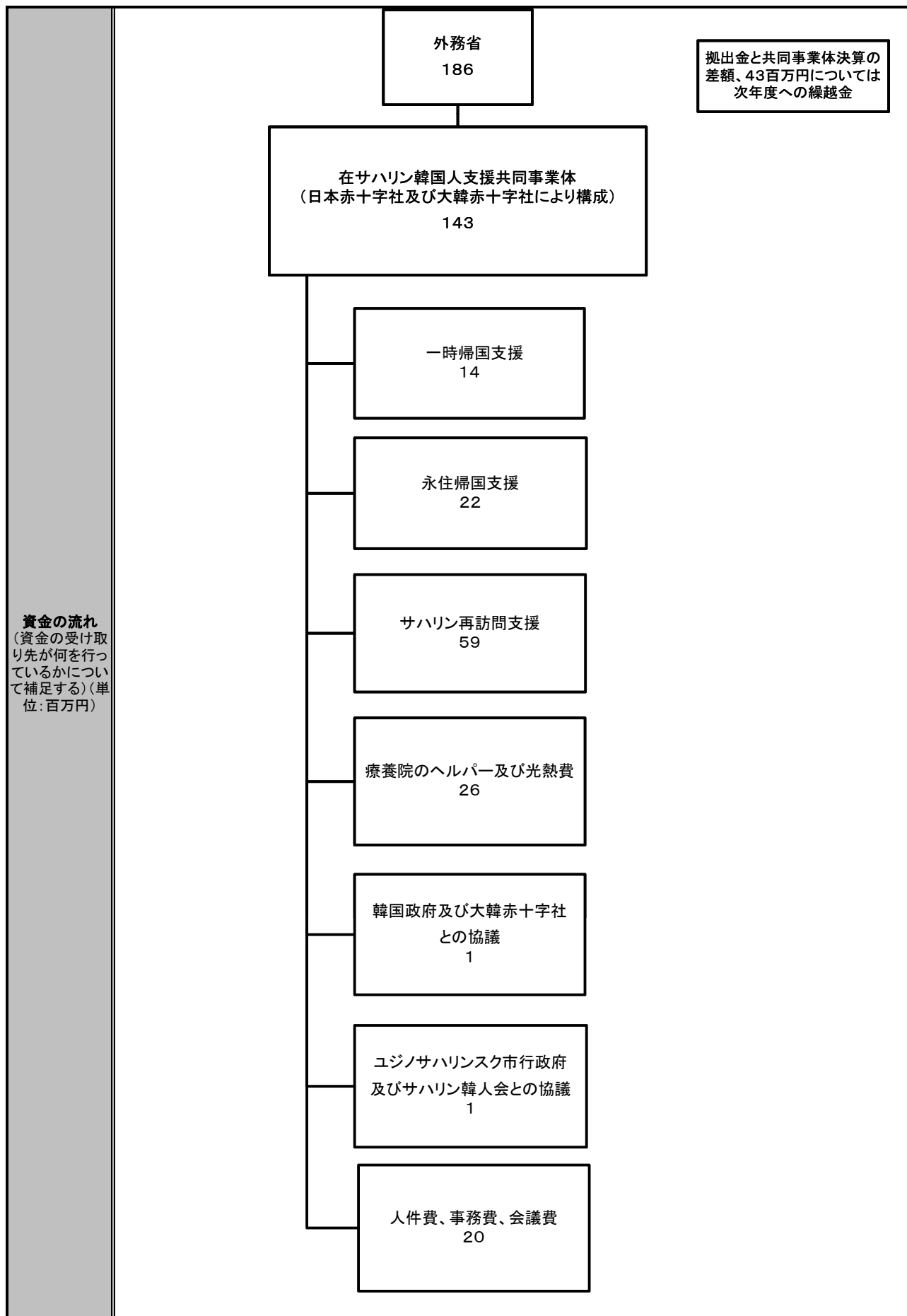


平成23年行政事業レビューシート（外務省）

事業名	在サハリン韓国人支援特別基金拠出金(任意拠出金)		担当部局庁	アジア大洋州局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成元年度		担当課室	北東アジア課		課長 小野 啓一			
会計区分	一般会計		施策名	Ⅷ-1 国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第二項及び第三項 外務省組織令第40条		関係する計画、通知等	在サハリン韓国人支援共同事業体協定書(平成元年)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成元年度に日本赤十字社・大韓赤十字社間で設立された「在サハリン韓国人支援共同事業体」に対し、在サハリン「韓国人」の一時帰国及び永住帰国等の支援のための経費を拠出し、また、今後の永住帰国支援策の検討・実施のための協議費用及びサハリン残留者支援策の検討のための協議費用を拠出するもの。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	在サハリン「韓国人」に一時帰国の支援を行う一方、永住帰国希望者の渡航・定着を支援し、併せて永住帰国希望の在サハリン「韓国人」に対するより適切な支援策の検討・実施のための調査・協議、サハリン残留者支援策の検討のための実態調査・協議を行っている。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	268	265	186	120	118		
		補正予算	-	-	-				
		繰越し等	-	-	-				
		計	268	265	186	120	118		
	執行額		268	265	186				
	執行率(%)		100.00%	100.00%	100.00%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	日韓間の協力を基調とした永住帰国支援、一時帰国支援、サハリン再訪問支援等を中心とする支援策を進める。 成果実績は、支援事業対象者数。			成果実績	人	998	1,020	892	846
				達成度	%	102%	105%	102%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	日韓間の協力を基調とした永住帰国支援、一時帰国支援、サハリン再訪問支援等を中心とする支援策。			活動実績 (当初見込み)	事業	5	5	5	5
						(5)	(5)	(5)	
単位当たりコスト	174(千円/各支援1人当たり平均値)			算出根拠	各支援の一人当たりのコストの平均値 永住帰国支援(212,200円) 一時帰国支援(177,300円) サハリン再訪問支援(132,372円)				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	拠出金	119,840	117,968						
計	119,840	117,968							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	関係機関との協議する段階より当方が直接関わっているため、支出状況についてはすべて明確に把握している。また、会議にも当方の関係者が直接参加しており、実施状況や効果についても毎回適切に把握している。 在サハリン「韓国人」問題について、これまで様々な支援事業を実施し成果を上げてきたところであるが、これらの事業について、韓国及びサハリンにおける関係機関と協議を行い、適切なニーズを把握することは、日本政府としての在サハリン「韓国人」問題に対する真摯な態度をアピールすることになり、事業の円滑な遂行にも資するものであるから、同水準の維持が必要であると考えられる。特に併合100年となる平成22年8月に発出された内閣総理大臣談話においても、本件支援の実施が盛り込まれており、継続的な実施が重要である。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		拠出額減額	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(拠出額減額)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
●事業仕分け(平成21年11月実施):事業番号2－50 国際機関等への任意拠出金 評価結果:見直しを行う とりまとめコメント: 第2WGとしては、更なる見直しを求めたい。重複の排除及び民間実施等の観点から、見直しをおこなっていただきたい。また、可能なものは国に返還することも行っていただきたい。なお、見直しの観点にあてはまらない拠出金については、見直しを行わないことにも留意して、新政権の下で具体的に精査を行う必要がある。 また、外交の目的は国益たることを前提として、効果や検証の仕組みをきちんと作るべきであり、体験談や印象による正当化では国費を投入する根拠にはならないという点も考慮して、検証・改善していただきたい。 最後に、いつまでこの拠出金を出し続けるかについても、戦略が見えてこないことから、新政権の下でしっかりと議論を求めたい。 ●公開プロセス(平成22年6月実施):事業番号:22 任意拠出金 取りまとめ結果:一部改善 コメント:外務省予算全体が削減傾向にある中、繰越金の水準を把握し予算に反映させる等して、引き続き予算削減に努める。			



費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
		一時帰国支援関連 146名		協議費	韓国政府及び大韓赤十字社との協議	1
	支援費用	航空機費用(往復)	9			
	支援費用	滞在費(7泊8日)	2			
		行政事務費	3			
	計		14	計		1
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
		永住帰国者支援関連 84名		協議費	ユジノサハリンスク市行政府及びサハリン韓人会との協議	1
	支援費用	航空機費用(片道)	4			
	支援費用	輸送費(バス)	1			
	支援費用	生活用品	9			
	支援費用	付添費	2			
	支援費用	健康診断	1			
	支援費用	支援団体助成	3			
	支援費用	帰国説明会、永住帰国関連費用	2			
	計		22	計		1
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
		サハリン再訪問支援 662名			人件費、事務費、会議費	
	支援費用	航空機費用(往復)	43	事務局経費	日赤 嘱託職員人件費(1名)	4
	支援費用	旅行補助費	5	事務局経費	日赤 事務費、会議費	1
	支援費用	輸送費	1	事務局経費	韓赤 職員(3名)	9
	支援費用	招待状発給	2	事務局経費	韓赤 事務費、会議費	6
	支援費用	親戚招請	1			
	支援費用	付添費	6			
	支援費用	支援団体助成	1			
	計		59	計		20
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
		療養院のヘルパー及び光熱費				
	療養院費	ヘルパーの人件費(8名分)	20			
	療養院費	光熱費	6			
	計		26	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	在サハリン韓国人支援共同事業体	拠出金	186	－	－
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					